

令和6年度 調布市立第四中学校 学校評価報告書（学校長 佐藤 政彦）

学校の教育目標	
心ゆたかに 体たくましく 賢い生徒 の育成	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
「澄み渡る心 さわやかな態度 熱い姿勢」を学校スローガンとし、温かさに包まれ、生徒一人一人が輝き、地域に愛される学校を目指す。	

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>

	1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
自己評価	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組
	①ふれあい月間(3回), いのちと心の教育月間(1回), 道徳授業地区公開講座(1回)では, 全校体制で取組を工夫し, 他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養った。	①校内研修を年間3回, 研究授業を年間2回, 相互授業参観を行い, 「主体的な学習を促す学習活動の工夫」を推進した。	①保健給食委員会を中心に, 生徒の食育における主体的な取組を推進した。また, 毎月の安全指導, 避難訓練により安全な学校環境を構築した。
	②移動教室(1学年3日間), 職場体験(2学年3日間), 修学旅行(3学年3日間)の体験活動を通して見聞を広め, 自然や文化に親しませた。	②ICT推進教師を中心に活用を推進し, 全教員がICTを活用した授業により, 情報活用能力の育成を図った。	②特別支援COを中心とした校内委員会(週1回)やSCとの連携により, 多様な教育相談の機会を設け, 心の健康を保持した。
	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)
学校関係者評価	①学校評価で「道徳教育の充実」についての肯定的な回答 93%以上を目指し, 結果 94.2%であった。	①学校評価で「主体的な学習態度」についての肯定的な回答 93%以上を目指し, 結果 93.3%であった。	①学校評価で「食育・安全指導」についての肯定的な回答 91%以上を目指し, 結果 91.9%であった。
	②学校評価で「体験活動の充実」についての肯定的な回答 92%以上を目指し, 結果 91.3%であった。	②学校評価で「タブレット端末の活用」についての肯定的な回答 78%以上を目指し, 結果 82.4%であった。	②学校評価で「教育相談の充実」についての肯定的な回答 77%以上を目指し, 結果 80.5%であった。
	・職場体験では意欲的に取り組む姿勢が見られた。 ・乳幼児や小学生, 高齢者への思いやりや支援などが自然とできており, 豊かな心を培う道徳教育が成されていることを感じた。 ・体験活動の充実を期待している。結果だけでなくその過程も大切にできるとよい。 ・各取組が, 人や生き物に対する優しさや思いやりの基盤となるように指導をお願いしたい。 ・体験活動の成果がアンケート結果に表れている。	・将来に向けて, ICTの活用と能力向上に向けて積極的に取り組んでいる様子が見られる。 ・情報収集の能力だけでなく, 将来の職業選択にも繋がるような学習ができるとよい。 ・与えられた事だけでなく, 自分で考え行動する力を付ける必要がある。 ・タブレット端末の活用については, 90%以上を目指し指導にあたってほしい。	・中学生は心と身体が一番揺れ動く年代なので, そのような部分の指導は難しいのでは。 ・運動系の部活動の充実を図り, 若いエネルギーを発散できる環境が整備できるとよい。 ・悩みを一人で抱え込まず, 相談できる環境づくりが大切ではないか。 ・特別支援教育において取組の成果が見られる。 ・食については, 関心の高さがうかがわれる。保護者を取り込んで推進してはどうか。

学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>

	4 保護者・地域・小学校との連携	5 社会の一員として活躍する力	6
自己評価	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組
	①学校だより(月1回発行), HP(月5回以上更新)等の活用, 地域清掃やあいさつ運動等で, 保護者・地域・小学校との連携を図った。	①職場体験, 福祉体験, 地域清掃, あいさつ運動, 校庭落ち葉掃き等の活動により, 望ましい職業観や勤労観を養った。	①
	②小学生の中学校訪問や小中連携教育の日(年2回)により, 児童生徒及び教職員の交流や連携を図った	②「ボランティアマインド」, 「障がい者理解」, 「豊かな国際感覚」の育成を図る体験的な活動を実施した。	②
	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)
学校関係者評価	①学校評価で「学校だより」についての肯定的な回答 80%以上を目指し, 結果 84.1%であった。	①学校評価で「職業観・勤労観」についての肯定的な回答 94%以上を目指し, 結果 92%であった。	①
	②学校評価で「HP・学校メール」についての肯定的な回答 72%以上を目指し, 結果 97.6%であった。	②学校評価で「学校2020レガシー」についての肯定的な回答 87%以上を目指し, 結果 85.9%であった。	②
	・子どもの居場所として, 児童館にも積極的に連携を図っていただき感謝している。また, 校庭の開放も助かっている。 ・地域の行事に中学生が参加してくれ, 嬉しい限りである。 ・災害時には, ボランティアとしての中学生の力に期待している。 ・学校だより等について, 保護者への浸透状況については, 課題が見られる。HP やすぐーるについては, 適切に運用されている。	・職場体験でより確かな職業観や勤労観を養うには, 以前のように5日間体験できるよい。 ・家族以外の多くの大人と関わる中で, 思いやりや優しさを感じ, さらに褒められることで, 自己肯定感が高まるのではないかと。 ・他人に対して何ができるか, 何を望んでいるのか知る機会を, これからも継続してほしい。 ・社会の一員として活躍する力は, 更に向上させる必要がある。 ・障がい者スポーツや異国との交流を取り入れるとよいのでは。	

人材育成・組織運営	
自己評価	<p>【人材育成】</p> <p>○初任者育成チームの編成，相互授業参観，校内研修等による指導力向上 主幹・主任教諭でチームを編成し組織的に初任者の育成を図ったが，指導時間の確保が難しく，計画的・継続的に育成するまでには至らなかった。また，授業力向上の取組では，教員相互に授業を参観し，各自の授業に活かすことはできたが，個人で学んだことをもとに還元研修の充実は図れなかった。</p> <p>○学年・分掌主任の意識の向上 運営委員会等で，学校課題の共有と解決策の検討を行わせ，主任としての意識を醸成することができた。また，起案事項は，必ず各主任を通す形式を確立し，各担当への指導助言を行わせ，意識の向上をはかった。</p> <p>【組織運営】</p> <p>○地域と連携した学校運営 地域の会合や行事に積極的に参加し，学校日より等により生徒や学校の様子を外部へ発信し，地域に開かれた学校運営を推進することができた。</p>
学校関係者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成や組織運営に関しては，教員不足や働き方改革等の問題があり難しい面もありますが，生徒に対して真正面から向き合っている先生たちを大切にしてください。 ・地域と連携した学校運営については，先生方にお世話になっており，ありがとうございました。地域との連携については，とてもよいと思います。 ・生徒の皆さんに地域と関わっていただき，本当にありがとうございます。今後もよろしくお願いします。

中期的な経営目標の達成状況	
1	豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努めている。今後も，様々な教育活動を通して心を育てる教育を充実させていく。
2	基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるために，主体的・対話的で深い学びの充実を図っている。今後は個別最適な学びを実現するためにも，モバイル端末等の活用が課題である。
3	食育の推進に関する指導・安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導が推進できている。今後も継続的に指導を推進していく。
4	社会に開かれた教育課程の実現を目指し，保護者・地域と連携して，教育活動の充実が図れている。CSとなり，より地域との連携が強化されるような学校づくり目指していく。
5	社会の一員として活躍する生徒の育成を目指し，「ボランティアマインド」「障がい者理解」「豊かな国際感覚」を育成することができた。次年度も，計画的に各学年の取組に位置づけ，育成を図っていく。
次年度の重点課題	
<p>○魅力ある学校づくり（豊かな心の醸成，確かな学力の定着，学校行事・特色ある教育活動の充実，生活指導・進路指導の充実）</p> <p>○特別支援教育の充実（配慮を要する生徒への指導の充実，UD・合理的配慮の推進，校内通級教室・ステップの活用，校内委員会の充実）</p> <p>○地域・保護者と連携した学校づくり（地域行事への参加，CS・地域学校協働本部の活用と連携）</p>	